





令和 8 年度 年間授業計画 教科 国語 科目 文学国語

教科: 国語 科目: 文学国語 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年

使用教科書: 教科書: 新編文学国語 (大修館書店)  
副教材: 常用漢字ダブルクリア (四訂版) 新訂総合国語便覧 (第一学習社)

教科	国語	の目標:
【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができる。	
【思考力、判断力、表現力等】	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができる。	
【学びに向かう力、人間性等】	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使うことができる。	

科目	文学国語	の目標:			
【知識及び技能】	生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の文学に対する理解を深めることができる。	【思考力、判断力、表現力等】	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり高めたりすることができる。	【学びに向かう力、人間性等】	我が国の言語が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、日本語の担い手としての自覚をもたせつつ、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養うことができる。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		話・聞	書	読					
<b>単元 9</b> 話さない 【知識及び技能】 日本の言語文化に特徴的な表現や変化を理解し、語感を磨くことができる。 【思考力、判断力、表現力】 読むことにおいて、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえ、内容を解釈することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 文章の内容を基に、自分の考えを論述したり話し合ったりしていく中で、自らの考えを深めることができる。	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】 日本の言語文化の特質や、異文化との違いについて理解している。	○	○	○	4
	作品の状況設定を的確にとらえ、寓意性を読み取る。 ・教材 教科書等				【思考力・判断力・表現力】 物語という文章の種類を踏まえて、内容や展開を的確に把握し、作品に表れているものの見方や考え方を捉えて内容を解釈している。				
	・一人1台端末の活用(場面)				【学びに向かう力、人間性等】 上記の内容について、授業中の発言や課題の完成度などにおいて、主体的かつ積極的に取り組んでいる。				
	調べ学習や意見記述								
<b>単元 10</b> 自宅学習 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力】 【学びに向かう力、人間性等】	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項	○	○	○	次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】	○	○	○	10
	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	・一人1台端末の活用(場面)				【学びに向かう力、人間性等】				
<b>単元 11</b> 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力】 【学びに向かう力、人間性等】	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項				次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】				
	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	・一人1台端末の活用(場面)				【学びに向かう力、人間性等】				
<b>単元 12</b> 【知識及び技能】 【思考力、判断力、表現力】 【学びに向かう力、人間性等】	指導項目に対し、次の教材等を活用する。 ・指導事項				次の観点別評価規準に従い評価する。 【知識及び技能】				
	・教材				【思考力・判断力・表現力】				
	・一人1台端末の活用(場面)				【学びに向かう力、人間性等】				
定期考査(学年末考査)/返却と解説									

3 学期